

令和4年度第2学期終業式 式辞 【生徒の皆さんへ贈る言葉】

世界中を巻き込んで盛り上がったサッカーのワールドカップは、アルゼンチンの36年ぶり3度目の優勝で幕を閉じました。日本代表の強豪国を破るなどの活躍に大いに感動や勇気をもらった人も多かったのではないのでしょうか。

話は変わりますが、毎年、日本漢字検定協会が発表している「今年の漢字」ですが、今年は「戦」という字でした。サッカーワールドカップの熱戦も選ばれた理由の一つのことです。私にとっては「感」で表される1年であったと思います。多くの人たちに支えられ、生徒の皆さんや先生方と共にこの吉田中学校で様々な取組を行ってきたという感謝の気持ち、皆さんの活躍や成長した姿に感動、感激したことが多くあったことがこの漢字を選んだ理由です。皆さんにとっての今年の漢字は何でしょう。ぜひ、今年1年を振り返りながら考えてみてください。



本日で81日間の2学期が終了します。102名の吉田中学校の生徒の皆さんが無事に2学期の終業式を迎えられたことを大変嬉しく思います。皆さんにとっての2学期は、どのような学期だったのでしょうか。皆さんはどんなことに力を入れて取り組み、その結果どのような成果が得られたのでしょうか。「成果」とは目に見える点数や形として残るものだけではなく、目に見えない自分の中の気付きや成長、重ねられた経験や体験も成果と言えるでしょう。

さて、2学期の始業式に皆さんにお話しした、吉田中学校の全員で意識して行動し、皆が成長できる充実した2学期にしていくための合言葉を覚えているのでしょうか。それは、「時を守り、場を淨め、礼を正す」ということばです。このことばは「他者を大切にするとともに、自分で考え判断し、行動できる人」、つまり「自立」した人となるための土台作りに向けた行動目標であるということをお話ししました。このことばを意識してこの2学期生活ができたのでしょうか。時間を守ること、清掃を主体的に行うこと、そして挨拶や返事を相手に伝わるようにすること。これらのことを意識し、少しでも1学期よりもできるようになった人は、成長した2学期だったと言えるでしょう。2分前着席などの取組を継続的に行っていた学年もありました。また、清掃でもその場所を使う人のことを考えて清掃を行う人、あいさつを元気な声で人より先に目を見て言える人が増えてきたように思います。3学期も引き続き、この合い言葉を胸に自分磨きを続けていってください。

2学期は大きな行事がありました。体育祭や文化祭といった学校行事や部活動などに取り組む中で、皆さん一人一人が様々な挑戦をし、努力を重ねてきたと思います。そこには102名分のドラマが展開したはずで、様々な経験を積み、個々の力を高めた学期となったことでしょう。初めてのことに思い切って挑戦したことは結果に問わず、何ものにも変えられない宝物です。そして個々の力が高まることで、集団の質が大いに高まった2学期となったのではないのでしょうか。

先日、3年生の集団面接を行った際に、「吉田中学校の良さは何ですか」という質問に対して「地元の方々からの支援・協力がたくさんある」「学習環境が整っている」などの答えがありました。その中でも多くの3年生が「男女関係なく皆仲が良く、お互い認め合い、協力し合えるところ」と話してくれました。まさに「集団の質が高まった」姿なのではないかと思えます。この素晴らしい吉田中の良さを、皆で来年も引き継いでいって欲しいと思います。

明日から新たな年を迎える冬休みが始まります。充実した冬休みにするために、そして、1月10日に晴れやかで元気な皆さんに会えるように、2つのお願いをします。

1つ目は、「今年1年をしっかりと振り返り、今後なりたい自分の姿を具体的にイメージする」ということです。「なりたい自分」になるためには、夢や目標を具体的にイメージする必要があります。そして、そこに近づくために、今何をしたらいいのか考えることが大切です。

2つ目は、「健康や安全に注意して生活する」ということです。何をしても、まずは健康そして安全が大切です。まだまだコロナ対策は必要です。自分の力を十分に出し切るため、そして、年末年始を楽しむためにも、感染対策をしながら、規則正しい生活や交通安全などに心掛けた生活をしてください。

それでは、良いお年をお迎えください。そして、3学期の始業式に、1年の夢や目標を胸に秘めた元気な皆さんに会えることを楽しみにしています。



吉田中学校長 矢口 岳人